

## 福塚 実 議員

### 公用車の集中管理について

**福塚** 市の公用車の台数と集中管理の台数等について伺う。

**総務部長** 前年度決算による車両総数は222台で、財政課所管の集中管理公用車は14台、その利用頻度は高い。また、車検整備は所管課がそれぞれ実施しているが、新年度以降は均等な発注機会の確保に向けて財政課で調整してまいりたい。今後の公用車更新については経費削減と環境に配慮し、軽車両の導入に主眼をおいてまいりたい。



### 五條市の財政状況について

**福塚** 新年度の市債の発行総額と財政健全化に向けての事業プラン等について伺う。

**総務部長** 新年度市債の発行総額は29億円を予定している。計画的な償還により借入残高は減少気味に推移する見通しであり、現状では本市の主要な財政指標は概ね良

好なものだと判断しているが、有利な補助制度の情報収集に努め、企業誘致を始め観光・地場産業の振興などによる税収の確保、事務事業の効率化を図ってまいりたい。

### 新し尿処理施設について

**福塚** (仮称) 五條市新し尿処理施設の契約の相手方について説明願う。

**市長公室長** 昨年9月に総合評価落札方式一般競争入札の告示をし、本年2月1日に改札した結果、水ing株式会社が落札した。当会社は、旧の株式会社荏原製作所であり、環境汚染施設、公害防止プラント等の運転・維持管理を行っている。また、技術提案の地元企業の土木建築工事は、五條市のAランクの業者となっている。

**福塚** 正規の公平公正な入札であるが、同じ業者が続いていることについては、市民の中で疑念を持っている方がいるということだけ理解しておくように。

## 藤富 美恵子 議員

### 家庭用生ごみ処理機購入費補助金400万円について

**藤富** 事業目的をお尋ねする。

**産業環境部長** 今回、ごみ処理の広域化に伴い、減量化施策を契機として、一般家庭から排出される生ごみを堆肥化するための必要機器を購入するに当たり、その費用の一部を助成するものである。

この事業により、「やまと広域環境衛生事務組合」への負担割合の軽減、ごみの減量化の促進、生ごみの再生利用などによる資源循環型社会の構築を目的として行っていく所存である。

**藤富** 事業内容をお尋ねする。

**産業環境部長** 生ごみ処理機器の購入費用の2分の1を助成するもので、限度額は3万円までと考えている。

助成要件などについては、市内在住の家庭を対象としている。

助成対象機器は、生ごみを乾燥処理、あるいはバイオの力で処理する電気式などについては、80台程度、コンポスト型、EMぼかしを活用したバケツ式は、併せて400組程度を予定している。

一世帯当たりの助成台数は、電

気式1台、コンポスト型2台、EMぼかし等を利用したバケツ式については、3台までと考えている。

EMぼかしを利用したバケツ式については、助成事業と併せて講習会を実施することとしている。

**藤富** 事業効果をお尋ねする。

**産業環境部長** 400万円の助成金で480世帯が実施したと仮定した場合、5年間で345トン、みどり園での焼却費だけでも1,417万円相当の軽減が可能と推測される。さらに、この事業実施によりごみの減量化・再資源化を意識付けることができ、ごみの分別や資源循環型社会への認識を深めることができるものと考えている。

なお、事業詳細については、現在、みどり園で最終調整を行っており、新年度に入り次第実施していきたいと考えている。

**藤富** 橋本市は平成18年度より、この助成を開始しており、生ごみ堆肥講習会に参加した希望者には、容器を無償提供し、資材についても継続的に無償提供している。

五條市も、広く普及させるためには、資材、EMぼかしの無償提供、あるいは補助をしていただきたい。